

七人の孫

二十四生 井出 敏

(藤川)

昭和三十四年に結婚して、ふつつかながら来年で五十年(金婚)になります。今のところ、お互いに健康を保ち、幸々に暮らしています。孫も二歳から二四歳まで、男三人、女四人となりました。今年は、各々孫が生まれた年の感想を一首づつ出させていただきました。

四十七歳の弥生に抱きし初孫の温みかいなに伝わりてくる (昭和五九年生まれ 弥生)

早朝のひかり爛やかみどりの産毛こがねに光らしめつつ (昭和六二年生まれ 悠)

いつしかにわが背に重くあたたく孫は静かにねむりたるらし (平成二年生まれ みのり)

青空をとぶ鷹の羽に夢托し初の男孫に破魔矢贈る (平成十二年生まれ 直幸)

信頼の視線感じて湯浴みさすわれと孫とのしあわせな刻 (平成十五年生まれ 幸樹)

広隆寺弥勒菩薩を思わせる「思惟」とゆう名をたまわりし孫 (平成十七年生まれ 思惟)

澄みし空祭囃子にいざなわれ男の子生まれたり孫七人目 (平成十八年生まれ 懼悟)